

ちょっとさみしかった

城山の「梅」



ひとつひとつ傷つけないように
ていねいにもぎっていました

梅雨入り前のよく晴れた日、梅林で知られている坂田城山で、梅の収穫が行われていました。

「今年は、暖冬で花が早すぎましてね、実のつきが悪いんです。それに4月末には大風に見舞われ、いつもの作柄の5分の1程度ですよ。心なしか作業の手も、もどかしそう。」

みずみずしく、まあるい青々とした梅は、選果場で念入りに選別したあと、梅干・梅酒用として、松戸・船橋方面へ出荷されます。



共同作業で仕事もはかどります



この日は、伊藤たまさんの作品が、役場に飾られました。



心にうるおいを求めて

私たちが張り切ってます

老人ホーム生け花クラブ

老人ホームには、生け花クラブがあります。クラブ員は10名、毎月2回、張り切って活動しています。

みなさん熱心に先生の指導を受けていました。和気あいあいの雰囲気のなかで腕も上達、なかなかのセンスです。

おじいちゃんおばあちゃんには、「生け花の日の来るのが待ち遠しい。みんな楽しんでるんですよ。」と心を弾ませて話してくれました。趣味をもつことは、すばらしいです。



生け花で気持ちをリフレッシュ

ね。クラブ員は交代で、役場と横芝警察署に飾ってくれます。とかく殺風景になります。ちな役所の中も明るくなりました。

「墨の県展」

入賞作品



大銀杏(若梅あやめさん)



栗山川河口付近(今岡一洋さん)



紅葉の湯の湖(久保田博さん)